

北海道社会学会ニュース

H. S. A. NEWSLETTER

発行：北海道社会学会事務局
〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目
北海道大学大学院教育学研究院 上山研究室
E-mail : hsa.sociology@gmail.com
郵便振替口座 02760-3-3085 <http://www.hsa-sociology.org/>

HOKKAIDO SOCIOLOGICAL ASSOCIATION
Kojiro UHEYAMA
Faculty of Education, Hokkaido University,
Kita11 Nishi7, Kita-ku, Sapporo, 060-0811 JAPAN

編集責任者：上山浩次郎（庶務理事） 北海道大学大学院教育学研究院 ueyama.kojiro@edu.hokudai.ac.jp
〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目 TEL 011-706-4946

第 68 回 北海道社会学会大会について

8月26日（水）のオンライン大会は、Zoom会議を使用し、札幌学院大学が大会運営を担当いたします。

会員、非会員ともに参加は無料です。プログラムは別紙1をご覧ください。報告要旨集は学会HPへ掲載いたしております。

【大会への参加方法および注意事項について】

- ①大会前日の8月25日（火）に、大会専用URLと報告の配布資料を一斉にメール送信いたします。
- ②メールアドレスを登録していない会員の方は、庶務理事（ueyama.kojiro@edu.hokudai.ac.jp）までお知らせください。
- ③参加マニュアルについては、大会2週間前を目途に学会HPに掲載いたします。
- ④非会員の参加は、会員からの紹介制とします。非会員の参加を予定されている場合は、事前に庶務理事（ueyama.kojiro@edu.hokudai.ac.jp）までご連絡ください。
- ⑤当日は、Zoom会議への入室手続きがありますので、開会1時間前から受付を開始いたします。余裕を持ってご参加ください。
- ⑥当日は、会員確認を「名前（所属）」という形式で行います。Zoom上での表示も「名前（所属）」に設定してください。

*ご自分の画面右上の「・・・」を開くと、<名前の変更>という項目があります。

⑦聴講者は、ハウリング防止のためマイクOFF（ミュート）の状態入室してください。

⑧発表等の録音・録画は行わないでください。

【Zoom懇親会のご案内】

*大会終了後にZoom懇親会を開き、皆様との交流機会にしたいと思っております。新入会員のご紹介も致しますので、ご参加をお待ち申し上げます。

*初めてのオンライン大会の実施ですので、当日は不測の事態が生じる可能性もあります。ご参加の皆様には柔軟なご対応をよろしくお願い申し上げます。

大会へのお問い合わせ

大國充彦（札幌学院大学）
ohkuni@earth.sgu.ac.jp
TEL. 011-386-8111 (5124)
高田洋（札幌学院大学）
htakada@sgu.ac.jp

第 68 回北海道社会学会総会について

形式：「メール（紙上）総会」

日時：7月1日（水）～7月13日（月）

報告

- 庶務報告（上山庶務理事）
 - 会員異動（2019年6月～2020年6月）
新入会員5名・退会会員4名・自然退会8名、計7名減で、7月1日現在の会員数は124名
 - 学会研究奨励金
工藤遥会員と田中元太会員の申請を採択した。
 - 2019年度理事会開催

2019年11月、2020年3月の計2回およびメールによる持ち回り理事会を複数回開催した。

4) 学会ニュースの発行

計4号(No.120~123)発行した。

2. 次回大会の開催校について(梶井会長)
札幌国際大学(札幌市)に決まったことが報告された。

議題

1. 2019年度決算報告(高島会計担当理事)
資料1のように提案され、承認された
2. 2020年度予算案(高島会計担当理事)
資料2のように提案され、承認された

第3回理事会について

オンラインで開催予定(日程は未定)

編集委員会より(角編集委員長)

『現代社会学研究』第34巻(2021年6月発行予定)の原稿募集について

①投稿原稿の募集

『現代社会学研究』第34巻の投稿原稿を募集します。投稿を希望される方は、学会ホームページから「投稿申込書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、学会事務局(hsa.sociology@gmail.com)に宛ててメールの添付書類として送信してください。その際の添付ファイル名は「投稿申込〇〇.docx」(〇〇には申込者の氏名を入れる)としてください。申込の締切は、8月31日(月)まで(同日必着)とします。申込者には数日のうちに事務局から申込書受理のメールが返信されますので確認してください。申込の時点で2020年度までの会費が完納されていないと申込は受理されませんのでご注意ください。審査用原稿は「執筆要項」の指定に基づくA4サイズ16枚以内のPDFファイルとして作成し、10月31日(土)必着で学会事務局宛てメールに添付してお送りください(従来、投稿原稿3部を郵送していただいていたこともありました。これは不要です)。その他の詳細については、学会ホームページに掲載されている最新の「編集・投稿規程」および「執筆要項」を熟読してください。

②書評対象書の募集

『現代社会学研究』第34巻に書評を掲載する対象書を会員の皆様から広く募集します。自薦他薦を問いません。会員の著作(会員の単著、または会員が編著者になっているものが原則)で書評として是非取り上げて欲しいものがありましたら、その書誌情報(著者名、書名、発行年、版元名)を学

会事務局(hsa.sociology@gmail.com)までお寄せください。自薦の場合は、書評を書いて欲しい会員名、リプライ付を希望するか否かについてお伝えください。またできれば書籍現物もお寄せください。特に指名がない場合は執筆者を編集委員会で決定いたします。当該書の発行時期は必ずしもこの一年間でなくても構いません。過去数年に刊行されたもので、書評対象とするにふさわしいと思われるものについても可とします。締切は、10月31日(土)必着です。情報を集約の上、編集委員会で検討して掲載の是非を決め、結果をご連絡いたします。

③書評原稿および「往来」原稿の募集

引き続き書評原稿を募集します。必ずしも書評という形式ではなく、その書籍の内容に何らかの形で言及しながら、ある研究テーマについて展開する内容となっても構いません。また海外事情の紹介やある分野についての最新の研究動向などに触れた「往来」の原稿も募集します。いずれも学術的な内容であることを条件とし、分量はリプライがつく場合は6,000字程度、つかない場合は3,000字程度とします。締切は10月31日(土)必着で、学会事務局(hsa.sociology@gmail.com)までメール添付でお送りください。その際の添付ファイル名は「書評投稿申込〇〇.docx」ないし「往来投稿申込〇〇.docx」(〇〇には申込者の氏名を入れる)としてください。但し投稿された原稿の取り扱いについては編集委員会にご一任ください。「往来」の投稿が少ない場合などには、編集委員会から個別にご執筆をお願いすることもあります。その折にはどうかよろしくお願い申し上げます。

*『現代社会学研究』32号掲載された論文等については、7月31日からJ-Stageで閲覧可能になっています。

北海道社会学会研究奨励金について

北海道社会学会では社会学研究の活性化と若手の育成を目的として、2006年より研究奨励金を交付しています。下記により奨励研究を募集いたしますので、ぜひご応募ください。

1. 募集件数:2件(1件5万円)
2. 応募資格:本会会員(若手単独が望ましい。若手とは、自分で科学研究費申請ができない地位にある大学院生や大学院修了者等を指す)
3. 条件:奨励金交付後2年以内の本学会大会での研究発表、および2年以内の『現代社会学研究』への投稿を条件とします。
4. 応募方法:まず応募用紙を庶務理事宛てe-mail

でご請求ください。ついで応募用紙に下記を記入し、庶務理事まで郵送により提出してください。

①研究テーマ、②応募者（氏名・所属）・郵便番号・住所・TEL・FAX・e-mail アドレス、③研究の目的と「社会学研究」としての意味・位置づけ等（具体的に）、④研究の方法と予想される成果（具体的に）、⑤推薦会員の署名と印

5. 提出期限：2020年10月31日（土）必着

6. 提出先・問い合わせ先：上山浩次郎（庶務理事、
あて先は1 ページ編集責任者欄参照）

会費の納入について

2020年度会費または未納分会費について、郵便振替用紙〔郵便振替口座 02760-3-3085〕にてすみやかに振り込み手続きをお願いします。年会費は一般会員 6,000 円、学生・院生会員 4,000 円です。

2020年度会費を納入されていない方には、機関誌第 33 巻（2020 年 6 月発行）をお渡しできません。5 年間滞納されると、自然退会の扱いとなります。ご注意ください。

会員異動（2020 年 7 月まで）

略

会員情報の変更届について

住所や所属が変更になったときは、遅滞なくメールで事務局（hsa.sociology@gmail.com）までお知らせください。その際、e-mail アドレスもお忘れなくご登録ください。ご協力をお願いいたします。

別紙 1

第 68 回北海道社会学会大会（オンライン大会）プログラム

開催日： 2020 年 8 月 26 日（水）

開催校： 札幌学院大学（オンライン・ZOOM ホスト校）

受付（Zoom 会議への入室） 8:45～

開催校挨拶	9:45	北海道社会学会会長	梶井祥子（札幌大谷大学）
		大会実行委員長	大國充彦（札幌学院大学）

一般研究報告 部会 I （報告 20 分＋質疑応答 10 分）

9:50－11:50 司会 西浦功（札幌大谷大学）

- | | |
|--|--------------------|
| 1. 「行動遺伝学から見た教育達成の格差－IQ を用いて」 | 中村聖（北海道大学大学院文学院） |
| 2. 「時間限定正社員の人事管理の特徴と課題」 | 宮本寛義（北海道大学大学院教育学院） |
| 3. 「難民研究の動向と課題－移民・難民研究の深化に向けて」 | 人見泰弘（武蔵大学） |
| 4. 「高齢女性 N さんの自己認識－活動的 1998 年時点と要介護的 2017 年時点の生活歴比較分析」 | 片桐資津子（鹿児島大学） |

一般研究報告 部会 II

13:00－14:00 司会 田島忠篤（公益財団法人モラロジー道德科学研究所）

- | | |
|--|---------------------|
| 5. 「現代中国村落社会における宗教信仰の変容－福建省福州市 E 村を事例に－」 | 翁 康健（北海道大学大学院文学院） |
| 6. 「幸福感と生活満足度の相違に関する探索的分析：『宗教と主観的ウェルビーイング』に関する調査」のデータ分析を通して」 | 清水香基（北海道大学大学院文学研究科） |

シンポジウム 14:20－16:00 「現代アイヌの生活と文化」

座長 小内透（北海道大学大学院教育学研究院）

第 1 報告「アイヌ民族の教育経験と階層形成」 野崎剛毅（札幌国際大学短期大学部）

第 2 報告「戦後におけるアイヌ文化の変遷」 上山浩次郎（北海道大学大学院教育学研究院）

コメンテーター 落合研一 氏（北海道大学アイヌ・先住民研究センター）

質疑応答（フロア）

閉会の辞 16:00－16:05

梶井祥子

16:05～ Zoom による懇親会

資料 1

略

資料 2

略